

1.3 総会日の山歩き

2010年4月 しあわせの村～藍那相談が辻～しあわせの村



村内遊歩道から入り、部分的に残る徳川道を経て藍那へ。



この時期はまだ整備途中の国営あいな里山公園“相談が辻”から星和台を経てしあわせの村へ戻る。



2011年4月 妙法寺～高倉山～旗振山～ 一ノ谷



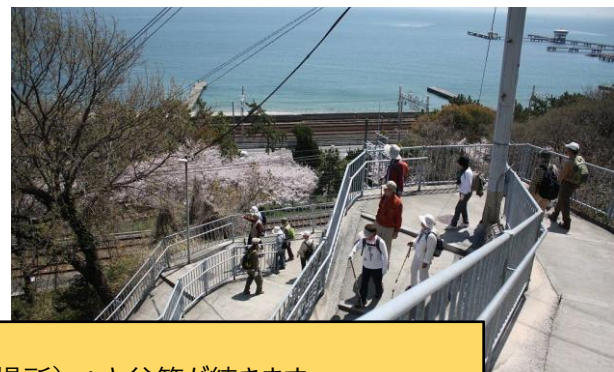
丁度さくらが満開の時期となったウォーキン



須磨の山に群生する備長炭の原木「ウバメガシ」
このあたりが日本に自生の最西地とされるところ。



旗振山。
昔その日の米の相場を大阪から順次旗を振りながら伝えた場所のひとつ。
摂津と播磨の国境通過点



一ノ谷の逆落とと言われる急な下り坂。
ここから西へ二ノ谷、三ノ谷（敦盛塚のある場所）へと谷筋が続きます。

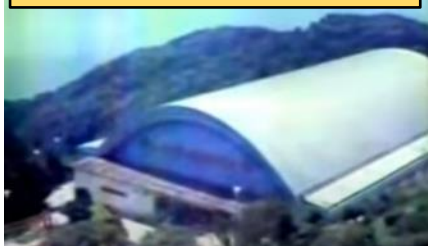
2012年4月 塩屋～旗振山～鉢伏山～一ノ谷



塩屋の街並みを通り山道へ。結構きつい旗振り山までの直登コース。途中何度かの休憩をはさみ、山上遊園地に到着。ここはかつては、屋内に大小多数のカラー噴水があり、音楽に合わせた吹き出し方で楽しむ【ドレミファ噴水パレス】があったところ。何度か子どもと訪れたことを思い出す。



今は無くなった噴水パレス



須磨の山に群生する備長炭の原木「ウバメガシ」このあたりが日本に自生の最西地とされる場所。

2013年4月 妙法寺～須磨脊山～旗振山～義経逆落とし道～一ノ谷

この時は全て動画撮影でした。残念ですがここでは再生できません。

2016年4月 妙法寺～高倉～おらが山～妙見堂道～一ノ谷

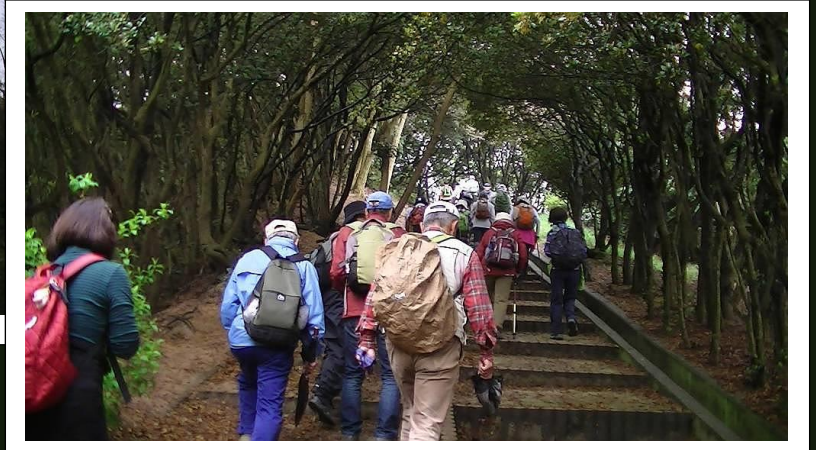


♪♪あ～あ 須磨の山は今日も雨だった～♪♪



須磨の山に群生する備長炭の原木「ウバメガシ」
このあたりが日本に自生の最西地とされる場所。





須磨の背山コースもよく歩いたけれど、鉄拐山には巻き道を通らず、山頂に登ったのはたしかこの1回だけだった記憶です。どなたが撮ったのか不明のため合成写真にならず。多分小泉さん。

須磨一ノ谷（坂落とし）

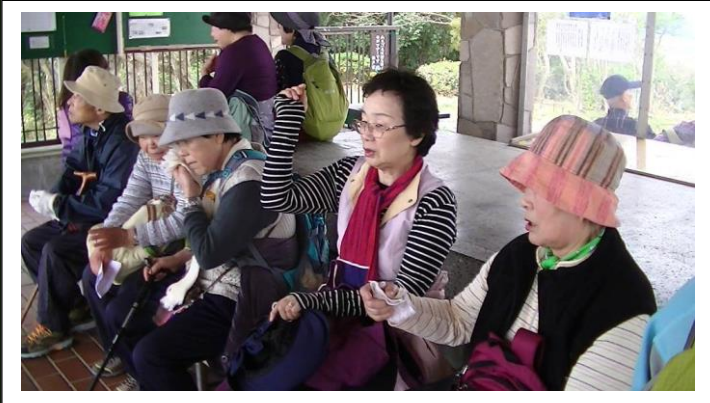
源義経の奇襲攻撃「一ノ谷・坂落とし」は須磨浦公園の北にそびえる鉢伏山と鉄拐山との間、眼下に海を見下ろす東側の急斜面で行われました。寿永三年二月七日早朝、鹿しか通らぬ急坂を、義経は弁慶をはじめとする七十余騎の騎馬軍団を率いて麓の一ノ谷城へと攻め降り、源平合戦は一方的な源氏軍の勝利で決着しました。ここから「安徳帝^{あんたくてい}内裏跡^{だいり}」へたどる道が、その進軍路と謂われています。他に鶴越付近（長田・兵庫区北方）との説もあります。（監修：須磨歴史倶楽部）

Suma Ichinotani (Drop down)



2017年4月 妙法寺～高倉～おらが山～妙見堂道～一ノ谷



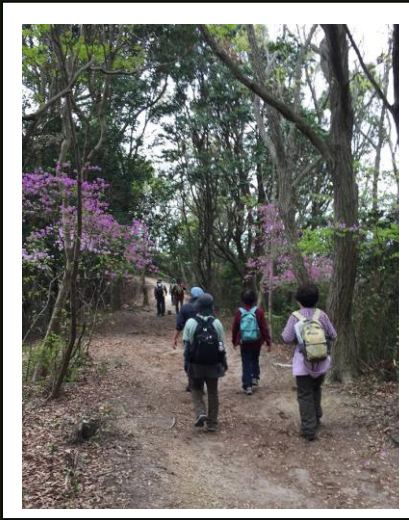
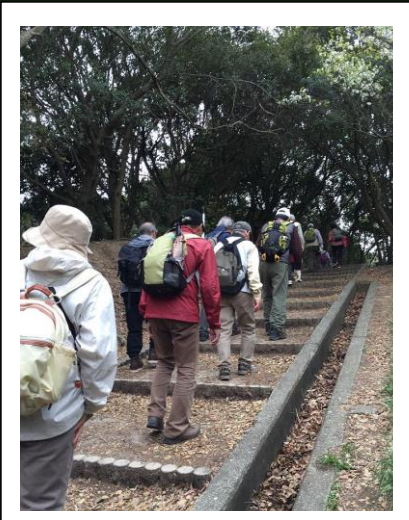




出来の悪い合成写真です。

2018年4月 妙法寺～高倉～おらが山～妙見堂道～ 一ノ谷





旗振り茶屋



妙見堂

